

天文 7

「令和 5 年の天文イベント」

天文担当 片野田 裕亮

■ 令和 5 年の天文イベント

令和 4 年も残り 1 ヶ月となりました。今年も、しぶんぎ座流星群に始まり、惑星同士の接近や皆既月食、天王星食、火星の最接近などさまざまな天文イベントがありました。そして、令和 5 年も多くの天文イベントが期待されます。今回は、来年期待される天文イベントを紹介します。

〈令和 5 年の主な天文イベント〉

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 1 月～2 月 | C/2002E3 彗星が 5 等級になる。 |
| 3 月 24 日 | 月と金星が大接近。九州南部から南西諸島で金星食。 |
| 4 月 20 日 | 日本の一部で部分日食。 |
| 8 月 13 日 | ペルセウス座流星群が好条件。 |
| 9 月 21 日 | 日没直後にアンタレスが上弦の月に隠されるアンタレス食。 |
| 10 月 29 日 | 早朝に部分月食。 |
| 12 月 15 日 | ふたご座流星群が好条件。 |

■ C/2002E3 彗星が 5 等級になる

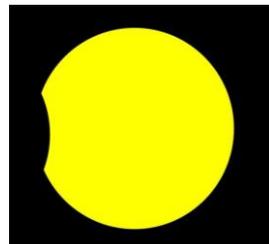
C/2002E3 彗星 (ZTF 彗星) は、現在地球に近づいてきており、2 月 1 日に地球に最接近します。北極星の近くで見られ、月が沈んでから明け方が見頃となります。双眼鏡などを使って観察してみましょう。

■ 月と金星が大接近。金星食も

3 月 24 日の 21 時頃、九州の一部と南西諸島で金星が月 (月齢 2.8) に隠される金星食が見られます。夜間に見られる金星食は少なく、日本で見られるのは、2012 年 (平成 24 年) 8 月 14 日以来となり、次回見られるのは 2059 年 (令和 41 年) 10 月 8 日となります。

■ 日本の一部で部分日食

4 月 20 日、東南アジアやオーストラリアでは金環日食が見られますが、日本の一部の地域でも部分日食が見られます。鹿児島でも部分日食が観察でき、14 時 9 分頃から 14 時 48 分頃まで観察できると予想されます。今後、2030 年 (令和 12 年) 6 月 1 日の金環日食 (北海道) まで日本で見られる日食は起こらないとされているので、日食グラスなどを使って、観察してみましょう。



■ ペルセウス座流星群とふたご座流星群が好条件

三大流星群のひとつであるペルセウス座流星群ですが、最もよく観察できる極大



日の 8 月 13 日は、月齢が 26.4 となり月明かりの影響が少なく、好条件で観察できます。流星数は、13 日未明に 1 時間あたり 40 個、14 日未明には 1 時間あたり 60 個程度の出現が期待できます。

また、三大流星群のひとつであるふたご座流星群も極大日の 12 月 15 日は、月齢が 2.1 と月明かりの影響がほとんどなく、好条件で観察できます。流星数は、14 日夜から 15 日未明にかけて 1 時間あたり 80 個程度の出現が予想されています。

極大日の前後 1 週間は流星を観察するチャンスですので、街明かりの少ない安全な場所で、椅子やシートを広げて座ったり、横になったりとリラックスした体勢で観察にチャレンジしてみましょう。